

学校教育目標

- ともに学ぶ生徒 ○こころ豊かな生徒 ○ともに鍛える生徒

熊谷の子どもたちは、これができます！

- 「生きる力」= 学力・体力・やる気
○朝ごはんをしっかり食べる。
○呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
○「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
○友だちをたくさんつくる。

「3減運動」

- ・テレビの時間
- ・ゲームの時間
- ・携帯電話やパソコンの時間

増やします！

- ・家族との会話
- ・読書の時間
- ・予習復習の時間



前期人権学習講話

「人権感覚を磨いていきましょう」

4月24日の全校朝会で人権（人権感覚）について話しました。

「人権感覚」：個々の児童生徒が、自らについて一人の人間として大切にされているという実感を持つことができるときに、**自己や他者を尊重する感覚や意志が芽生え、育つこと。**

そのためには、学級をはじめ学校生活全体の中で自らの大切さや他の人の大切さが認められていることを児童生徒自身が実感できるような状況を生み出すことが大切です、

○「いじめ」について問われれば、誰もが「よくないこと」と答えると思います。しかし、現実には、友達に悪口を言ってしまったり、自分ではそのつもりはなくても相手を傷つける言葉を言ってしまったりすることがあると思います。「頭では理解している」が、言ってしまったことやおこなってしまったこと、そのことが「よくないこと」と気づける感覚を磨いてください。

コンビニに障害者等用駐車区間が設置されています。混雑時に障害のない方がその区間に車を止めていることがあります。「そこしか空いていないから」、「すぐに用事がすむから」、「他の駐車スペースも空いているから」などその人なりの理由を持っているのかもしれませんが、もし、その時にその駐車区間を必要とする人がいたら・・・

「おかしい」、「ちょっと変かな」、「それは大丈夫かな」と気づくことを大切に、そして、何気ない「優しさ」「思いやり」の行動を大切にしてください。

ちょっと相手のことを気にかけて行動できると、お互いに気持ちよく生活することができます。そうすることで、「いじめ」や「差別」などがなくなり、人権を大切にする社会になると思います。

前期人権週間で改めて「人権」について考え、これからも「人権感覚」を磨きながら「人を思いやる気持ち」を大切に生活してください。